

平成 14 年 3 月期第 3 四半期の業績等の概況（連結）

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン
上場取引所(所属部) 大阪証券取引所・市場第二部
 (コード番号 7608)
本社所在地 大阪府中央区上町一丁目3番10号
問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長
 氏 名 川上 優
 T E L (06) 6765-0670

1. 業績

(千円未満切捨て)

(1)平成 14 年 3 月期第 3 四半期(平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 12 月 31 日)の業績

	13 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)	14 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	参 考 前期(通期)
売上高	千円 4,010,457	千円 4,882,913	% 21.75	千円 5,090,207
営業利益	349,835	373,405	6.74	337,201
経常利益	341,960	364,503	6.59	324,154

(2)販売の状況

業態別売上高

(単位：千円、%)

			13 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)		14 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)		参 考 前期(通期)	
			売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
ア ミ ユ ー ズ メ ン ト	オ ペ レ ー タ ー	メーカー系	422,249	10.5	440,304	9.0	507,002	10.0
		量販店系	205,350	5.1	266,714	5.5	278,800	5.5
		ジョブ・ソングセンター系	342,533	8.5	459,854	9.4	435,830	8.6
		路面店	2,116,695	52.8	2,411,817	49.4	2,647,398	52.0
		遊園地等	75,905	1.9	90,263	1.8	91,595	1.8
	ディスプレイコーナー	267,543	6.7	401,309	8.2	307,998	6.0	
	S P 部門			82,154	1.7	46,057	0.9	
小 計			3,430,278	85.5	4,152,419	85.0	4,314,686	84.8
物 販	問 屋		62,578	1.6	95,313	2.0	89,026	1.7
	小売店		517,600	12.9	635,180	13.0	686,493	13.5
	小 計		580,178	14.5	730,494	15.0	775,520	15.2
合 計			4,010,457	100.0	4,882,913	100.0	5,090,207	100.0

(注) 1. メーカー系とは、アミューズメント機器を製造している企業のことです。

2. 量販店系とは、大手量販店(スーパー等)のアミューズメント部門のことです。

3. ショッピングセンター系とは、量販店やショッピングセンターのテナントとして店舗展開している企業のことであります。
4. ディストリビューターとは、アミューズメント施設へのアミューズメント機・景品等の販売を主業とし、アミューズメント施設を運営していない法人または個人のことであります。
5. SPとは、セールスプロモーションの略称であり、企業プレミアム商品の企画・販売を担当する部署のことであります。
6. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

商品分類別売上高

(単位：千円、%)

	13年3月期第3四半期 (前年同四半期)		14年3月期第3四半期 (当四半期)		参 考 前期(通期)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自社企画商品	85,591	2.1	95,206	1.9	106,914	2.1
キャラクター-商品	1,004,352	25.1	969,912	19.9	1,169,473	23.0
仕入商品	2,920,514	72.8	3,817,794	78.2	3,813,817	74.9
合 計	4,010,457	100.0	4,882,913	100.0	5,090,207	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 主な資産・負債の変動について

項 目	14年3月期第3四半期	増減額	前期末
(資産)	千円	千円	千円
現金及び預金	835,407	58,899	776,508
受取手形及び売掛金	1,542,209	778,187	764,021
有価証券	-	50,170	50,170
棚卸資産	226,340	99,954	126,385
土地	469,612	52,776	416,835
(負債)			
買掛金	1,062,286	593,338	468,947
短期借入金	440,594	230,918	209,676
未払法人税等	92,838	41,625	51,212
長期借入金	32,421	41,509	73,930

(注) 当四半期および前年同四半期に係る数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

2. 業績の概況

(1) 当四半期の状況

当四半期の売上高は、アミューズメント業界向け販売事業・物販業界向け販売事業ともに好調であり、売上高 4,882 百万円（前年同期比 21.8%増）、経常利益 364 百万円（前年同期比 6.6%増）と増収増益となりました。

(2) 部門別の状況

〔アミューズメント業界向け販売事業〕

アミューズメント業界向け販売事業は、量販店系・ショッピングセンター系オペレーターへの販売が好調であり、それぞれ前年同期比 29.9%、34.3%と大きく伸長しました。担当者レベルからチームでの顧客対応に切り替え、より顧客のニーズに合った商品の提案と供給ができるようになったことがその要因です。また、商品面では頭文字（イニシャル）D 関連の商品が引き続き好調であり、オリジナル商品全体の売上高の 21.5%を占め、売上高増加に大きく寄与しました。

S P部門は、平成 13 年 10 月 1 日付で㈱イメージライフの営業の一部を譲受けたことと、映画配給会社やお菓子メーカー等への販売が好調であったため、82 百万円の売上高を上げることができました。

以上の結果により、売上高 4,152 百万円（前年同期比 21.1%増）と増収となりました。

〔物販業界向け販売事業〕

物販業界向け販売事業は、主力商材であるキーホルダー類が 180 百万円（前年同期比 12.7%増）、携帯電話関連グッズが、286 百万円（前年同期比 1.7%減）と前年並みとなりましたが、今期の重点施策であるバラエティ雑貨の品揃えの拡充と、販売強化を推進した結果、252 百万円（前年同期比 106.8%増）と大きく伸び、さらにチェーンストアとの取引の拡大、営業譲受け等による新たな販売ルートが増加したことにより全体の売上高は、730 百万円（前年同期比 25.9%増）と増収となりました。

3. 当期の見通し

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	6,150 百万円	400 百万円	222 百万円	66 円 00 銭

4. その他

該当事項はありません。